

平成 21 年度第 3 回田原市図書館協議会

日時：平成 22 年 3 月 16 日（火）午前 10 時～

場所：文化会館 204 会議室

出席者：協議会委員 8 名

（澤井、森下、加藤、中島、廣中、小澤、鈴木一、岩瀬）

事務局 2 名（森下、鈴木三）

1 あいさつ

澤井委員長

2 協議内容

（1）先進地視察について

館長より、委員からの視察の感想を踏まえて、日進市立図書館と田原市図書館の相違点について資料に添って説明

・日進市は学習室を設けているが、田原市は学習室を設けなかった。館内に椅子を分散することにより使い勝手を良くしようと考えた。教室的考えはなかった。

・日進市は IC タグ使用のため自動貸出機の利用が多いが、田原市は 1% 程度の利用で減り気味傾向にある。

・日進市は午後 8 時までの開館である。田原として午後 8 時までは人手を確保するのが難しいが、周辺の豊橋辺りが 8 時までとなると考えなくてはならない。

・日進市は業務委託を一部行っているが、田原市としては委託はしないということで議会答弁をしている。

（2）平成 22 年度予算について

資料 2 に基づき事務局から説明

全体としては 21 年度より 300 万円程度の減

運営事業としては、渥美図書館のエアコンの修理代のため増額、資料収集事業としては、資料代が 370 万円程度の減となっている。

委員長：予算について何かご質問はございますか。

委員：エアコンの修理代とあったがいつから壊れていたのか、すぐに直せなかったのか。利用者が不快な思いをしないためにも市全体で緊急の予算

をプールし、修繕費に回すような仕組みができないのか。そういった要望をしかるべきところに届けて欲しい。

委員：公は現場の意見が弱いのが現状、すぐには対応できない。

委員長：このエアコン修理については、予算が通ればすぐに対応できるのだから、そう心配することはないのではないのか。

委員：これは一つの例であって、渥美は古いから今後もいろんなことが起きうる。利用者が不快な思いをしないように、すぐ対応できるような事を考えて行って欲しい。

館長：壊れてから修理するよりも定期的に手を入れていった方が良いのはわかるが、現状は難しい。

委員：AV資料が雑品というのは。

事務局：保育園で購入したCD等が雑品で処理されているので合せるようにという財政、監査からの指示。図書館とすると資料費がわかれてしまいわかりにくくなった。

(3)(4) 田原市子ども読書活動推進計画について

館長から第2次における変更点について説明

- ・新規項目として学校図書支援センターの設置を目標とした。
- ・内容項目については、学校司書を1人4校から1人3校の巡回とすることとした。
- ・達成できなかったこととして、学校図書の資料充実のために、年間増加冊数の設定を2次計画に継続としたが、保育園については達成できた園もあるので継続としなかった。

委員長：推進計画についてご意見はありますか。

ないようですので、事務局ほかにありますか。

館長：私ごとですが、この3月で定年退職となる。田原市の人事異動としては異例であるが、新しい館長を公募していただき、静岡県から大変有能である方が来てくれるので私も安心してやめることができる。長い間お世話になった。今後ともよろしく願いたい。今後は田原史編纂にたずさわるため、田原市にとどまる。

委員長：館長お疲れさまでした。

それではほかにないようですので第3回図書館協議会を閉会します。
お疲れさまでした。